



tattoo

original edition

For adult only

mechi

登場人物

ネロ：シーザーの情夫、27 歳

アーサー：シーザーのボディガード兼殺し屋、40 歳

シーザー：ギャング「ブラック・ウルフ」のボス

~~~~~

このたびは、当同人誌を

お手にとっていただき、誠にありがとうございました。  
お手に取って読みたいと思っていただき、ありがたく思います。

ドアを開けると、ベッドの二人が血に塗<sup>まみ</sup>れていた。

『そういうプレイだ』と馬鹿げた考えが頭をよぎったのが0・05秒。次の瞬間には銃を抜き、裂けた首から血を吹き上げる雇い主にまたがる情夫に銃口を向けていた。

そのまま引き金を引かなかったのは、情夫がこちらに手のひらを向けていたからじゃない。裸の男は丸腰で、枕の下に忍ばせてあるはずの銃を抜くまでに制圧できる確信はある。

噴水のような返り血を浴びながら、情夫は恍惚<sup>かお</sup>の表情で腰をゆっくり振り続けている。

「どういふつもりだ？」

問いかけると、照準の先で血濡れた顔が俺を見据え、白い歯がにっと笑った。

\* \* \*

雇い主であるギャング、"バッド・ウルフ"のボスのシー

ザーが、ネロという情夫を飼い始めたのは約1年ほど前のことだった。

シーザーのナイトクラブでストリップをしていたその男は、シーザーに見初められる1ヶ月ほど前に雇われた。

20代の半ばらしいが実のところは不明で、幼さの残る中性的な顔立ちや大きな目はふとした時に異様に艶っぽく、ブラウンの巻き毛と適度に脂肪が覆う滑らかな体は妙に蠱惑的で、見る者の下卑た欲求をくすぐる妖艶さがあつた。それでいて、男に媚びるためにわざとらしく女っぽくも、女に媚びるためにあからさまにオスを主張するわけでもない男は、かえって人々の目を惹いた。

そして、瞬く間にトップキャストになった男はVIPの接客をするようになると、初めてシーザーの横についてフェラをした夜、そのまま召し抱えられる形で情夫になった。